

富山地方鉄道鉄道線再構築検討会 第 1 回立山線部会

日 時：令和 8 年 7 月 21 日（火）13 時 00 分から  
場 所：富山県防災危機管理センター 3 階 研修室

<次 第>

1 開 会

2 議 題

（1）富山地方鉄道立山線の再構築事業の区間変更について

・・・資料 1（立山町）

（2）その他

3 閉 会

富山地方鉄道鉄道線再構築検討会 第1回立山線部会

<出席者名簿>

(敬称略)

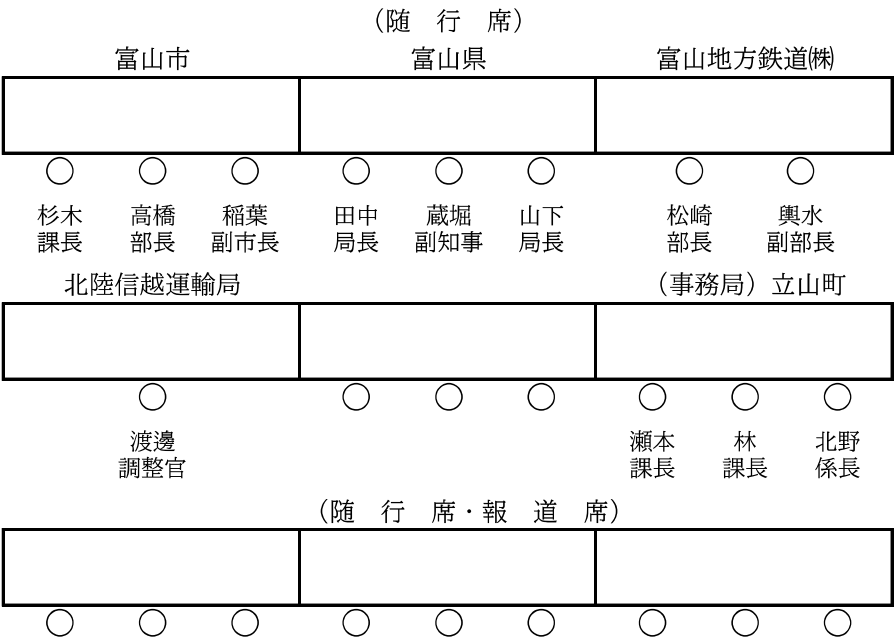
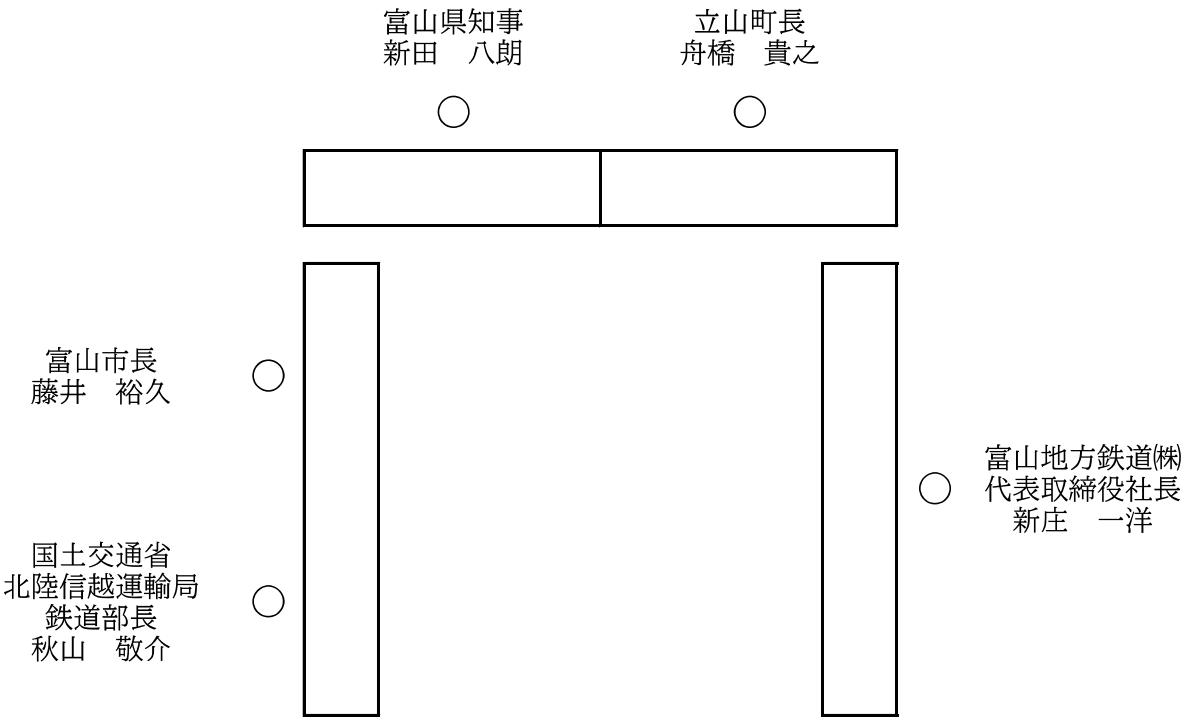
| 所 属              | 職 名     | 氏 名   | 備考     |
|------------------|---------|-------|--------|
| 富山県              | 知事      | 新田 八朗 |        |
| 富山市              | 市長      | 藤井 裕久 |        |
| 立山町              | 町長      | 舟橋 貴之 | 部会長    |
| 富山地方鉄道<br>株式会社   | 代表取締役社長 | 新庄 一洋 |        |
| 国土交通省<br>北陸信越運輸局 | 鉄道部長    | 秋山 敬介 | オブザーバー |

富山地方鉄道鉄道線再構築検討会 第1回立山線部会

日時：令和8年7月21日（火）13時00分から  
場所：富山県防災危機管理センター3階 研修室

＜配席図＞

（敬称略）



入口

## 富山地方鉄道立山線の再構築事業の区間変更について

## 区間変更の理由

- これまでの富山地方鉄道鉄道線のあり方検討会・立山線分科会
  - ・「岩嶺寺駅から立山駅間」を観光路線として位置付け、鉄道線として存続を目指すことを基本的な方針とする。
  - ・令和9年度からの再構築事業の導入に向けた取り組みを進めることで全会一致



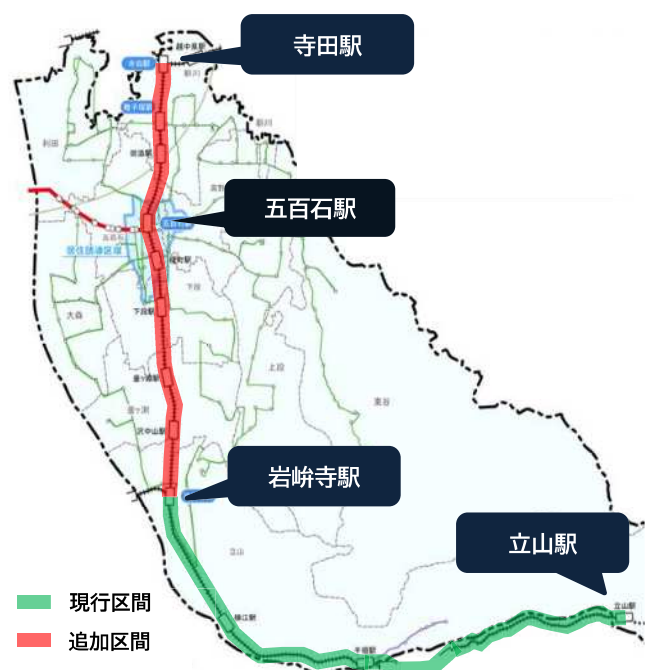
- ・まちづくりや地域の活性化の観点より生活路線としての役割が強い「寺田駅から岩嶺寺駅間」も再構築事業区間に組み込む必要がある。

## 鉄道事業再構築事業区間(案)

立山線に係る再構築事業では、次の区間を対象として取り組みたい。

- 観光色の強い区間：岩嶺寺駅～立山駅間（現行区間）
  - 引き続き「観光路線」として位置付け、存続を目指す。
- 生活色の強い区間：寺田駅～岩嶺寺駅間（追加区間）
  - 地域住民の利便性向上を目指し、利用促進および地域活性化を軸とした再構築を検討する。

観光客と地域住民の双方が  
利用しやすい路線を目指し、  
持続可能な鉄道運営モデルの  
構築に取り組む。



# 富山地方鉄道立山線 利便向上策案



## 【ポイント】

- ・立山線と本線の結節
- ・停車本数の多さ
- ・特急停車駅

## 【検討事項】

- ・P & Rによる利便性向上
- ・地権者調査及び調整
- ・既整備送迎駐車場の再整備
- ・遊休地の再利用、整備

## 寺田駅



## 【ポイント】

- ・町中心部に位置
- ・地鉄バス、町営バスとの結節
- ・特急停車駅
- ・観光バスから地鉄へ乗換
- ・立山町観光・暮らし情報館  
移住相談、シェアキッチン、  
物販、まちテラス(交流スペース)
- ・都市再生整備計画進行中

## 【検討事項】

- ・五百石駅と五百石駅周辺への誘導

## 五百石駅 (町元気交流ステーションとの複合施設)



立山町観光・暮らし情報館  
(R9.3竣工予定)



# 富山地方鉄道立山線 利便向上策案



## 【ポイント】

- ・釜ヶ淵駅をよくする会(結成20年)、釜ヶ淵小学校等による美化活動  
→地元で愛される駅

## 【検討事項】

- ・P&Rによる利便性向上
- ・桜植樹による駅の魅力アップ
- ・地権者調査

## 釜ヶ淵駅



## 【ポイント】

- ・立山線と不二越上滝線の結節
- ・遊休地の再整備
- ・特急停車駅

## 【検討事項】

- ・P&Rによる利便性向上
- ・観光バスから地鉄へ乗換
- ・地権者調査

## 岩嶺寺駅

